


## 地域とともに取り組む活動の実施

高知県須崎市下分甲316  
生徒数 142名

<b>学校の特徴</b>	確かな学力と豊かな心を育み 地域と協働し 信頼される学校
<b>地域の特徴</b>	清流「新莊川」が流れ、南側は太平洋が広がる。ご当地グルメの「鍋焼きラーメン」やゆるキャラグランプリ2016優勝のマスコットキャラクター「しんじょうくん」のPR活動により注目が高まっている。
<b>活動内容</b>	○行事計画への積極的参加 ○校区内PTAとの連携 ○地域活動への積極的参加

### 【行事計画への積極的参加】


- ・学年部会を開催し、親子行事の在り方や愛校作業の取組について確認。
- ・「携帯スマホマナー教室」や「PTA・地域合同避難訓練」、「職業人から学ぶ講座」等の行事を計画、開催。
- ・PTA女性合唱部「ドリーム」による文化発表会での合唱披露。

### 【校区内PTAとの連携】

- ・『つながりの中で育ち合う子どもたち』をテーマに校区内3つの小学校と協力、連携。
- ・講師を招致し、子育てに関する子育て合同講習会を実施。
- ・随時、小中学校PTA合同による研修会や連絡協議会を開催。

→ 校区内小・中学校が一体となったPTA活動を展開

### 【地域活動への積極的参加】

- 地域ボランティアと清掃活動**
  - ・地元の「道の駅」スタッフと協力してお遍路さんの接待木の清掃や芝桜の管理を実施。
  - ・校区を流れる「新莊川」の清掃活動に参加。
  - ・前日までに活動場所の事前整備を実施し、参加者の安全確保と参加者数確保に貢献。
- 地域イベントへの参加**
  - ・「須崎祭り」「イルミネーション祭り」に出店し、地域の活性化に貢献。
- 地域防災学習**
  - ・避難マップ作成、防災避難タワーの見学、地域の津波体験者からの語り部学習を実施。
- 地域アピール**
  - ・ご当地グルメ「鍋焼きラーメン」について地元の方を講師に生徒と一緒に調理体験学習を実施。

毎年、30人程度の参加者数を維持！



## 成果

- ・地域イベントに参加、出店することで地域の活性化に貢献するとともにPTA会員同士の結束力を強めている。
- ・清掃活動へ学校ボランティアや地域の方と協力して取り組むことで地域の美化活動に貢献するとともに、学校・家庭・地域の連携をより強くしている。
- ・学校の行事計画、運営に積極的に参画することで、円滑な学校運営に貢献している。

## 課題

- ・PTA活動に積極的な保護者とそうでない保護者の二極化の解消。
- ・校区内小学校PTAとの連携や地域イベントへの参加など、活動を継続していくため、参加者を増やすこと。
- ・海や川が近くのため、防災力をより強めること。

【高知県教育委員会事務局生涯学習課】

# 福岡県立早良高等学校 P T A

～生徒たちが幸せな社会人として生きていける力をつける～

○学校の特徴：昭和60年（1985年）に設立され、平成29年度には32年目となる全日制普通科の県立高校です。特色としては、各学年1クラスずつスポーツコミュニケーションコース（県内に5校ある体育系コースの一つ）を設置しています。

○地域の特徴：この脇山の地は、福岡市早良区の都会から南部へ行った、脊振山と油山に囲まれた緑豊かな大自然の中にあります。また、日本における茶の発祥地でもあり、昭和天皇即位の大嘗祭に西日本で唯一お米を献上した主基斎田があった所でもあります。地域の方はやさしさにあふれ、人情に厚い人々です。

○活動内容：（保護者・地域・学校が三位一体となった活動）：会員は保護者及び教職員で構成され、加入率は100%！

### ○地域連携活動

地域・学校・保護者が三位一体となって子どもたちを育てるという理念のもと、脇山校区・オイスカサマーナイトフェスティバルやオイスカ収穫祭などの地域行事に生徒と共に参加。「から揚げ」等の出店で参加している。



### ○保護者と教職員によるマナーアップ等

登校時の挨拶と、下校時本校が路線バスの始発であるため、さらなる乗車マナー向上のため、一緒に乗車した保護者がマナー指導を行っている。また「花いっぱい運動」や生徒と共に「校内清掃活動」を行い校内環境の整備にも努めている。



### ○進路視察研修

「PTA上級学校訪問」  
進路に関する知識や情報の収集を目的として、年間2回（6月・7月）実施。特に、大学・短大、専門学校等へ訪問し、施設見学・模擬授業などを体験している。



### ○地域教育環境改善

「六校連絡会」  
地域の六つの学校（脇山小・内野小・曲淵小・早良小・早良中・早良高）のPTA役員で構成（定期的に研修会を開催）  
「早良中学校区青少年育成連絡協議会」（登下校や夜間のパトロール）  
青少年の健全育成と  
非行防止に貢献

成果：地域との連携が強く、PTA活動が主体的で活発である。人間関係が密で地域のイベントや学校行事お互いに参加し、協働することで地域人材の育成が進んでいる。

課題：少子高齢化の影響を受け、人口減少が心配される中、今後さらにPTA活動を通して、地域との協力体制を強化する仕組みづくりが課題である。

所在地：福岡県福岡市早良区  
小笠木403  
生徒数：423名



【福岡県教育庁教育企画部社会教育課】

# 唐津市立西唐津中学校 P T A

## 「心豊かな」子どもの健全育成を目指した活動・組織の在り方

所在地: 佐賀県唐津市ニタ子1丁目7-83  
 全校生徒数: 202名

<b>学校の特徴</b>	生徒数202名、学級数8学級、教職員数22名。「自他の命を尊び、主体的に学び・行動する生徒の育成」を学校教育目標として、教育活動を行っている。また、「初志貫徹～責任を持って行動しよう」をスローガンに、生徒会活動も盛んである。
<b>地域の特徴</b>	佐賀県北部にある唐津市は、玄界灘に面し、多くの島々や砂浜、虹ノ松原(日本三大松原)などを有する。また、「唐津焼」など優れた工芸品や、14台の曳山が町中を勇壮に駆け回る「唐津くんち」をはじめとした市内各地の伝統的なお祭りなど、豊かな観光資源を持つ市でもある。
<b>活動内容</b>	会員198名、役員会(執行部・校長・教頭)で企画立案し、活動の主体は5つの専門委員会(学年部会、生活部会、母親部会、文化部会、体育部会)が積極的な活動を行い、心身ともに健康な生徒の育成に努めている。

### 主体的なPTA活動

- 定期的な役員会(執行部・校長・教頭)で企画・立案。
- 活動の主体は「専門委員会」が主体的にリード。
- ・生活部会...朝の挨拶運動(6月～12月)  
夜間巡回活動(3地区を年6回)
- ・母親部会...PTA食堂(年2回)  
3年生を励ます会(1月)  
卒業式セレモニー(3月)
- ・体育部会...親子レクリエーション(唐津市教育の日)  
親子除草作業(9月)  
親子綱引き(体育大会)
- ・文化部会...PTA新聞「かけはし」発行(年2回)

### 地域と連携した活動

- 子ども達に奉仕の精神を育むための取組
- 校区内一斉清掃日  
学校と地域と連携し、校区内一斉清掃日を設定している。
- 奉仕活動  
地域の駐在員や民生委員の協力を得て、校区の独居老人宅へ年賀状とミニ門松を制作し、配布している。



### 「チーム唐津」の立ち上げ

- SNS等で学校を超えたつながりのある子ども達の健全育成を図るため、近隣の4校のPTAで立ち上げた組織。
- 授業参観、情報交換会の実施
- 夜間巡回活動  
花火大会や夜市の巡回活動を行い、深夜徘徊や喫煙等に対する指導を行っている。



### 成果

- ・PTAの活動によって、生徒の中に自分たちはよく見られているという安心感が確実にめばえてきている。次第に、あいさつを返す生徒や、街中で会っても会釈をする生徒が増えた。また、生徒たちの目つきや表情も穏やかになってきた。
- ・PTAの献身的な活動を生徒が感じることで、保護者への感謝の気持ちや地域への貢献の気持ちも高まってきている。

### 課題

- ・各専門部の取組がマンネリ化してきているので、活力のあるPTA活動の実現のため、新しい企画を考え実践していくことが課題である。

【佐賀県教育庁学校教育課】

# 長崎市立野母崎小中一貫青潮学園 P T A

## 学校～保護者～地域の連携で育てる青潮っ子

### 学校の特徴

地域の強い要望を受けて長崎市初の施設一体型小中一貫校として平成26年に創設された。平成22年に旧野母崎町内の4地区にあった4小学校が合併し、長崎市立野母崎小学校となり、さらに中学校の敷地に新設された校舎に移転・合併する形で開校。

### 地域の特徴

三方を海に囲まれた長崎半島の先端部に位置し、自然豊かな漁業・農業の盛んな地域である。近年は少子高齢化・過疎化が進み人口も減少している。しかし、祭りやパーオンなど伝統行事が盛んで、地域の子どもは地域でたくましく育てようという気概を感じる。このように、地域の方々は教育に関する関心が高く、学校の教育活動に対しても大変協力的である。

### 活動内容

学校とともにPTAも小・中がひとつとなり、1年生から9年生までの保護者が協力して運営している。会長をはじめとした役員が推進役となり特色ある4つの地域、あるいは小・中の垣根を越えた活動を展開している。

#### 主体的なPTA活動

- 活動は本部役員・専門部役員がリード
- 学年PTAは各学年が独自の計画を立てレクリエーション・お楽しみ会・野外活動
- ・ファミリープログラムなど  
創意あふれる活動を展開



#### 年間を通した見守り活動

- 毎日のバス停見守り
- 毎月1回行うあいさつ運動(教育週間中は4回)
- 100人パトロール



#### 豊かな体験活動を通した児童生徒の育成

- 郷土のお祭りへの参加協力
- パーオン・カヌー等体験行事への協力
- 通学合宿の見守り活動
- 育成協・子ども会等との連携



#### 成果と課題

学校とともに、PTAも小・中が一体となることで、小中分け隔てなく子どもたちを見守ろうという意識が自然に生まれ、4地区それぞれが持つ文化・風習の違いを超えた地域の一体感を生んでいる。一方で核家族化・過疎化・少子化が進み、会員同士のつながりの希薄化が一部で懸念される。地域性を生かした連帯感を高めるための取組の工夫が今後必要となってくる。

所在地 長崎県長崎市野母町1番地  
 児童数 133名 生徒数 78名 計 211名

【長崎県教育庁 生涯学習課】

# 菊陽町立菊陽南小学校PTA

## 伝統文化と環境を生かし地域とともに歩む学校を目指して！

<b>学校の特徴</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治7年創立の本校は、父母、祖父母にも卒業生が多く、地域の核として重要な役割を果たしている。</li> <li>・小規模校のよさを十二分に生かし、地域人材や自然を生かした教育活動が盛んである。</li> <li>・農業土木遺産「鼻ぐり井手」に関する児童の保存伝承活動を、地域、PTAが協力し支えている。</li> </ul>
<b>地域の特徴</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜栽培を中心とした農業経営者が多く、古き良き地域コミュニティが続いている校区であり、PTA活動、社会教育活動が盛んである。</li> <li>・地域の祭や伝統行事、各団体の事業などへの児童の参加を、地域やPTAが積極的に奨励している。</li> </ul>
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例の執行部会(会長・副会長・母親部長・書記・各委員長・教頭)で企画、学年委員・総務委員等を含めた役員会で承認されて活動に取り組む。</li> <li>・少ないPTA数で効率よく活動するために、会員同士および地域住民との連絡を密にして、協働体制を整えている。</li> </ul>

### 地域とともに歩むPTA組織

- 定例の**執行部会**(会長・副会長・母親部長・書記・各委員長・教頭)で企画、学年委員・総務委員等を含めた**役員会**で承認されて活動に取り組む。
- 各学年(単学級)から選出され、学級レクリエーションなどで絆を深める「**学年委員**」
- 各地区から選出され、地域での連絡調整を行いPTA活動を側面から支える「**総務委員**」

地域を愛し、地域に貢献する人材の育成

南小PTA主催行事としての取組

健康・体力 学習支援 生き方教育 環境・安全

地域人材・各団体・各協議会

### 伝統文化の継承

校区にある農業土木遺産「鼻ぐり井手」の保存伝承活動を通して、児童が地域を知り、見直し、愛する心を育むPTA活動

- 鼻ぐり井手を中心に据えて
  - ・加藤清正による築造を描く音楽創作劇「後の世のために」 井手祭での上演
  - ・歴史や環境を学び地域に貢献する子どもボランティアガイド など



### 特徴的な活動

### 様々な環境を活用

田畑に囲まれた豊かな**自然環境**、三世代同居が多い**生活環境**、地域の繋がりを大切にする**社会環境**を生かしたPTA活動

- 社会教育施設南部町民センターと協働
  - ・世代間交流事業で地域住民と触れあう「伝承遊びものづくり」「もちつき」
  - ・子どもボランティアガイド養成講座
- 南小活性化協議会、青少年健全育成協議会、婦人会、老人会などとの連携
  - ・「農業体験」「防災ずきん制作」「交通安全教室」「家庭教育学級」などへの**ゲストティーチャー**



### 成果と課題

・地域とのつながりを大事にした活動を推進することで、本校が地域に支えられ、児童が地域から育てられていることに、改めて気づかされた。また、本校の児童が元気に学校生活を送り、地域の行事に積極的に参加することで、地域から喜ばれ活性化につながっている。児童の地域に対する自己有用感も高まりつつある。課題としては、地域の高齢化が急速に進みつつあり、地域人材の確保が困難になることと、それに伴う後継者の育成、さらなる地域の教育力向上が急務であることがあげられる。

所在地:熊本県菊陽町  
全校児童数:81名

【熊本県教育庁教育総務局社会教育課】

# 臼杵市立臼杵小学校PTA

## 学校・家庭・地域・行政が一体となった防災活動を通じた人間育成！

所在地:大分県臼杵市  
全校児童数:270名

<b>学校の特徴</b>	「笑顔かがやく子どもの育成～豊かな心と学ぶ意欲を持ち、心身ともにたくましい子どもの育成～」を学校教育目標に、「かながえる子」「がんばりぬく子」「やさしい子」「きまりを守る子」(かがやき)をキーワードとしながら、地域社会との連携のもとに校風と地域の風土や特性を受け継ぐとともに、平和と人権を尊重した知・徳・体の調和のとれた人間性を育む教育をめざしている。
<b>地域の特徴</b>	大友宗麟の丹生島への築城以来、城下町として栄え藩政時代からの神社・仏閣等、往時を偲ばせる歴史的にも古い町並みを残すとともに、新旧の文化が調和した歴史的な地方都市の性格を備えている。校区住民の教育に関する関心は高く、PTAをはじめとして学校教育活動に協力的である。海岸部に位置しており、南海トラフへの対応など防災に対する意識が高い。
<b>活動内容</b>	<b>特徴的な活動</b>

### 学校・家庭・地域・行政が連携した防災教育

【主な取組】



【防災ノート作成】

- 「防災ノート」をPTAで作成し、全家庭に配付
- 親子避難訓練などの定期的な避難訓練の実施
- PTA防災部と父親部「やっちゃろう会」を中心とした防災体験学習の実施
- 学校公開家族参観日での「防災ノート」を使った授業の実施
- 地域総合防災避難訓練(3月11日実施)へのPTAの積極的な参加
- PTA防災部主催による「防災カフェ」を開催し、地域住民とともに防災について学習する場の提供

### 防災デイキャンプ

- 父親部「やっちゃろう会」の主催により実施(平成28年8月開催)
- 臼杵市役所防災危機管理室の指導による避難所運営の講習
- 「父親たちによるカレーライス」の提供等



【防災デイキャンプの様子】

- 工夫している点  
防災体験学習の前に、昔遊びや新聞スリッパの作成、フリスビードッチを行うなど、楽しむ要素も取り入れた防災学習を展開

### その他の特徴的な取組

- 保護者と教師の協力体制の構築
  - ・各専門部に教職員が担当として入り学校の指導とPTA活動が連動する仕組みを構築
  - ・メールを活用した素早い情報発信・共有など
- 地域との連携の推進
  - ・「青少年健全育成会議」にPTA校外生活部が参加し、各地区区長や民生委員等と意見交換
  - ・「祇園祭」「竹宵祭り」など地域行事への積極的な参加など
- 広報活動の推進
  - ・広報部による広報誌「はぐくみ」の定期的な発行を通じたPTA活動の会員への周知を徹底
  - ・防災部による「見守り新聞」の発行を通じた防災意識の普及・啓発

### 成果

- (平成27・28年度大分県PTA連合会指定研究発表会研究紀要から)
- 防災の取組を持続させることにより、地域や関係機関も工夫を凝らし、防災の持続性が確保できる。
- 防災への取組は地域や世代を繋ぎ、人の輪をつくっている。
- 災害発生時の対応について家族で話し合うことにより家族のコミュニケーションが増えている。
- 非常時のあり方を考えることにより、児童の考える力、行動力を身に付け、活躍の場を広げることができている。

### 課題

- (平成27・28年度大分県PTA連合会指定研究発表会研究紀要から)
- 卒業後も児童の防災意識を持続させ、活動するため、地域内の中学校・高等学校との繋がりを構築する必要がある。
- 防災に詳しい人材(防災士等)の育成が難しい。
- 防災ノートや防災マップの定期的な更新が必要である。

【大分県教育委員会社会教育課】

# 【宮崎市立住吉中学校】 情報共有・みんなで育てる

所在地: 宮崎県宮崎市島之内7608 全校生徒数: 566人  
 地域の特徴: 「地域の子どもは地域で育てる」青少年健全育成に向けた支援の充実  
 学校の特徴: ボランティア活動(JRC)の継続的な取組

TEAM住吉

## 特徴的な取組

### ① 一世帯一役による全員参加型のPTA活動の推進

- PTAの全会員が、一世帯一役として、6つの専門部(生活指導、広報、厚生、成人教育、保健体育、環境整備)に所属し活動している。

### ② 家庭への積極的な情報提供による啓発活動の充実

- PTA新聞をとおした情報提供  
年間4号発行し、教育活動への理解や協力を促している。



※平成28年度全国小中学校PTA広報紙コンクール文部科学大臣表彰受賞

### ③ PTAと地域の各種関係団体との連携による青少年育成活動の充実

#### ○ 農作業体験

地域各種関係団体が連携し企画運営している田植えや収穫等の活動にPTAも協力し、園児・児童・生徒の活動を支援している。



#### ○ ボランティア活動

生徒の地域でのボランティア活動を積極的に支援し、幅広い交流を促進している。



## 成果

- 家庭の必要とする情報を的確に把握し、情報提供の充実が図られている。
- 地域との様々な連携により、家庭・学校・地域が一体となって生徒を育てる機運の醸成が図られている。

## 課題

- 情報提供の継続・内容充実により、支援の輪をさらに拡大・充実していきたい。

【宮崎県教育委員会生涯学習課】

# 中種子町立納官小学校PTA

PTAと地域がともに助け合い、元気な納官の子を育てよう  
 ~育てよう可能性 守ろう笑顔と素直な気持ち~

所在地: 鹿児島県熊毛郡中種子町  
 児童数: 111人

## 学校の特徴

明治5年に寺小屋を創設してから、本年度で145年目を迎える。本年度は1・2年生、3年生、5・6年生、ひまわり学級の4学級で児童数は111人である。複式少人数指導教育の研究実践に取り組み、児童の基礎学力や活学力の向上を目指した研究を累積してきている。

## 地域の特徴

さとうきびを中心とした畑が多くあり、農業が盛んな自然豊かな地域である。住民の学校教育に対する期待は大きく、納官小学校の活性化のためには協力を惜まない気風がある。PTA活動や子ども会活動、学校の美化活動や校区と一体となった運動会等、校区の中の学校として地域の人たちに支えられてきている。

## 活動内容

年6回のPTA運営委員会、その他各専門部において専門部会を開催し、会員アンケート等で出された内容を中心にPTA運営委員会で協議し、運営に生かしている。

### 効率化されたPTA組織と運営

- 方向性の共通理解を図る年6回の「運営委員会」
- 精選された2つの専門部  
 会員相互の連携を深める「総務部」  
 各行事活動を推進する「事業部」

### ☆家庭教育力充実のための啓発

- 「目指す保護者の姿」の制定  
 家庭教育目標を具現化するための取組
- 「一家庭一家訓」の設定  
 親子の共通目標・会話を増やす取組

### ◇「和太鼓隊の継承」◇

- ・ 卒業生である地域の青年たちが新たな指導者となり、PTAの支援のもと活動継承
- ・ 「町夏祭り」等地域行事への参加



### ◇校区の中の学校◇

- ・ 学校参観日の実施
- ・ 校区の方に学校を開放し、学校の教育活動を公開

### ○「食育」運動の推進

- ・ 親子で地産地消の郷土料理作り
- ・ 親子料理教室の実施
- ・ 食べる活動を通して郷土のよさを学ぶ活動
- ・ 地域の食生活改善委員との連携



### ○その他の活動

- ・ 子ども安全見守り隊…「愛のパトロール」危険箇所の情報交換
- ・ 青少年健全育成事業…家庭・地域の連携を深める活動(スポーツ大会・秋の大祭への参加)

### ウミガメの放流

【8月実施】

- ・ 校内にウミガメ孵化場を設置し、孵化したウミガメを海に帰す活動
- ・ 奉仕作業での孵化場整備
- ・ 地域ウミガメ保護監視員との連携
- ・ 地域自然に目を向けた海岸清掃活動



## 成果

- ・ 「元気な納官の子を育てる」という目標を共有し、PTAと地域が協力し合えたことで、子どもから高齢者の方まで顔を合わせる機会が増え、地域の活性化につながった。
- ・ PTA会員数の少ない中で、効率化した仕組みづくりがなされ、ウミガメ放流や和太鼓活動等、特色ある活動の維持・推進がなされている。




## 課題

- ・ 活動継続のためのPTA会員数の維持
- ・ 若い世代の人材育成

【鹿児島県教育委員会社会教育課】

## 「すこやか」校訓に学校・家庭・地域が連携したPTA活動

所在地:沖縄県浦添市当山3丁目2番7号 全校児童生徒数:139名 小学部56名、中学部43名、高等部40名

<b>学校の特徴</b>	創立52年の歴史を持つ、肢体不自由障害、病弱障害のある児童生徒が通う特別支援学校である。「開かれた学校」「信頼される学校」「魅力ある学校」「豊かな感性と自立を育む学校」「安心安全な学校」を教育の柱に、「生きる力」を育成し、自立と社会参加を目指している。		
<b>地域の特徴</b>	本校が所在する浦西地区は、浦西、陽迎橋の自治会がある。両自治会とも「夏祭り」や地域クリーン活動を進めるなど、地域内、近隣地区との交流を大事にしている。特に、定期的支援もいただいている陽迎橋自治会の商工業者会とは、PTA活動への参加で交流を深めている。		
<b>活動内容</b>	<b>特徴的な活動</b>	<b>踊りの夕べin鏡が丘</b>	<b>〇地域と連携した取組〇</b>
<b>校区の広い学校で“つながる”取組</b> <b>〇運営の効率化や参加しやすい環境づくり</b> ☆会長のもと、小学部、中学部、高等部から副会長を選出して、会員全体が参加しやすい環境づくり ☆父親参加を促す「おやじの会」、医療的ケアの必要な子どもを持つ保護者のための「医ケアを考える会」、卒業後もつながり続ける「青年教室」を組織に加え、多様なニーズに responding ☆学年ローテーションで、12年のうち1度はPTA評議員になり、3つの専門部を経験できる運営 <b>〇連携しやすさを推進するための体制づくり</b> ☆役員、専門部はSNSでつながり、情報を共有しやすいよう工夫し、気軽に意見交換ができています ☆学校メールを活用し、全会員へPTAからメール発信することで、活動の活性化を図っている <b>〇防災、緊急時を意識した取組</b> ☆緊急時引き渡しカード、緊急対応マニュアルを学校とともに作成し、災害や緊急時に備えている		<b>【開催時期】</b> 9月の土曜日 <b>【取組内容】</b> 会員の他に地域の事業所、自治会、卒業生、学生ボランティアも参加し、総勢200名が参加。PTA厚生部が中心となり、会場設営、舞台余興(和太鼓、エイサー、ダンス)、飲食コーナーの運営を行い、盛り上がっている <b>〇工夫している点</b> ☆学校、家庭、地域、卒業生が一体となって舞台、販売コーナーを盛り上げている ☆和太鼓は、保護者、学校職員が協力して何日も練習の機会を作り行っているの、練習を通してPTAの絆が強くなっている	◇自治会との交流◇ 地元自治会の子ども達が寄宿舎のお楽しみ会に参加して交流している ◇地域団体の支援・協力◇ 自治会の商工業者会から定期的に子ども達の教育活動に必要な備品の寄贈がある <b>〇家族参加型の取組〇</b> 「夏休みプール開放」「親睦球技大会」「PTAバザー」「車いすマラソン」「クリスマスパーティー」等、子ども達の家族が気軽に参加できる活動を展開している <b>〇その他の活動〇</b> リサイクル活動やワークショップ、施設見学、研修会など、専門部の活動も充実している
<b>成果</b>		 PとTで演舞する鏡太鼓	奇贈品と交流の様子  親睦球技大会  PTAバザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と家庭が連携して、学校の教育の柱にそって、子ども達の「生きる力」を育む取り組みができた。</li> <li>「おやじの会」、「青年教室」、SNSや学校メールの活用により、協力体制を強化する仕組みづくりがなされ、PTA活動の維持・向上が図られている。</li> <li>学校と地域が連携することで、教育活動の充実、学校やPTA活動の啓もうを図ることができた。</li> </ul>		<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSや学校メールの活用で、学校と保護者との連携が以前よりはやりやすくなったが、校区が広い参加型活動の機会を増やすことが難しい。</li> <li>地域との連携は少しずつ広がってきているが、今後、地域とのつながりを増やしていきたい。</li> </ul>

【 沖 縄 県 教 育 庁 生 涯 学 習 振 興 課 】



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN